





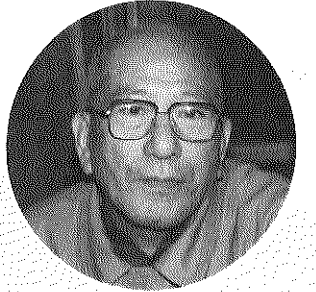
# 社長を交代し 仏道の研鑽を

岡本金属工業(株)  
取締役会長  
**岡本 傳**

尋常小学校卒業後、門司の本屋に奉公するが、満鉄へ勤めたいとの少年時代の夢を生かすべく一年でとびだし支那大陸へ渡る。しかし肉親の赴報により福岡へ呼び戻され、小倉の造兵廠へ入社。波乱の昭和史と共に歩んだ人生

# 中国に夢はせた 混乱の青春

(有)城後製作所  
代表取締役  
**城後 福美**



建築鉄骨・金物の熔断・熔接をしている城後製作所の城後福美社長は、九州・福岡の出身。大分と熊本の間、山の村である。普段は魚といえば鱈の塩干しが主で、お正月にだけ市が立ち、鯛などの生の魚を売りに来ていたと、子供の頃の思い出である。

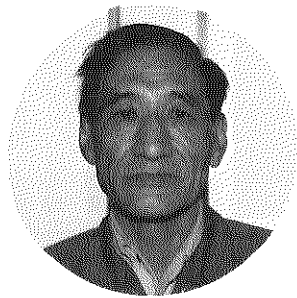
は小説にも書けそうである。今の人は仕事にお金というところが風潮になっているが、その頃は兵隊さんが使う九九式小銃をつくられていたのだと、必死でもあり充実していた。

造兵廠は外地出張制度があり、城後社長も大陸へ出され、ゴビの砂漠にも行った。外地出張には25人単位で出掛けるのですが、帰りに必ず1人や2人の遺骨を持ち帰る厳しい出張でした。その中国へ行くのが今年の念願。仕事については、建築関係が好調で問題なのは人手不足。そこで気心の知れた福岡の人はどうかと思いつき、高島炭坑の閉山のニュースに連絡をした所、二月には職業訓練が終了するとの事で、どんな仕事にも嫌な顔一つせず頑張っている息子の手助けになるのでは...と期待をかけている。

突然の訪問に、スチール家具に使われるプラスチック部品の仕上げの手を休める暇もなく、磯谷四郎社長は快く応じてくれた。62才になりました、もう引退してもいい年ですが、元気で働くのが一番健康に良いと思いついています。一昨年はひどかったですが、去年は忙しかったです、ただ急がしいからといって、いつ暇になるか分からないので、人をいれるわけにもいかず、見通しがつく迄みんな頑張ろうと思っています。仕事の虫ですよ、つき合いでゴルフもしますが、協会のゴルフも最近は一週一回から4ヶ月に一回と減ってきています。麻雀もやりますが最近は一週一回が揃わなくなりご無沙汰です。

# 働く事が 健康の源

(株)プラチップ  
代表取締役  
**磯谷 四郎**



みんなの給料とボーナスを稼ぐ為に精一杯働く経営者なんて、みなそうじゃないですか。65才になったら、息子に跡をついで貰うつもりですが、みんな長く務めてくれる人達で、高齢化してきますので、能率低下と給料も高くなっていきますので、跡をついで貰うのも有難いような、かわい想な様で、難しい時代ですから、忙がしい人生を送って来たので、のんびり旅行でもするのが夢。

# 心のこもった サービスを 目指して

小松ばね工業(株)  
代表取締役  
**小松 節子**



て、あけて見るのが一番の楽しみ。他所の子供達がお年玉をお金で貰っていることを、少し大きくなって知り、びっくりしましたと少女の頃の思い出を語ってくれたのは小松ばね工業の女性オーナー、小松節子さんです。ばねは小さな部品の一つですが、それが車に使用されれば、その良し悪しが人の生命にも関わる事になります。社員一人一人がその大切さを深め、信頼される会社として、心のこもったサービスを目指しています。主婦業専任から、会社へ来たての頃は、事務所へ入る事さえとぎまぎしていたが、今では、お客様の所へも率先して出向き、営業マンに言えない種類の苦情や相談に早急な応対をしている。

このお客様とのコミュニケーションを大切にする姿勢や社内でのリーダーシップのとり方は、以前に主催していたクラシック・バレエ教室の経験が役に立っている。今年先代社長の理念を大切に、良き社員の協力のもとに、少しでも売り上げを伸ばして行きたいとの決意である。

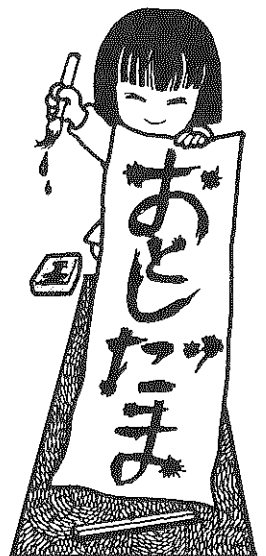
# 新社名で 一層の躍進

(株)新明商会  
代表取締役  
**大石 正昭**



CI(コーポレーション・アイデンティティ)を取り入れ、今年より一層の飛躍を期しているのが新明商会である。大石社長によると、従来の社名「新明商会」では、商社的なイメージを持たれ、中間マージンを搾取しているように思われがちなので、(株)シンメイと改め、製造から販売迄の一貫体制を強調していきたいという。

事務の省力機械の製造・販売が



主力で、郵便料金計機・印紙税納付機器、その他にチェック・スタンプ(多目印刷機)・バム印刷機等の製造と販売。リコピーの修理、ラベル・シールの印刷と販売といくつかの柱を設けて企業戦略としています。昨年の12月には松本に新工場が完成し、シール印刷部門が拡大し、又大阪に出張所も設けましたので一層の充実を図りたい。

会社創立10周年には香港、20周年の昨年にはハワイへと社員旅行を行い、遊ぶゆとりを持って働く事が良い結果になると、30周年へ向けての63年は第一歩である。趣味はゴルフ。お正月には普段出来ない家庭サービスの為にいつも旅行中とか。

# 新工場の完成で 売り上げ18%増 今年も好調

大明工芸(株)  
取締役社長  
**初見 重房**



タビュ一

# 型の年に

あけまして  
ごぎいます。  
会員経営者の  
タビュ一による

ていただきました。  
頼い申し上げます。



ついている。つらきとして、宗務院にも届け出がだされ、在家坊主としてお経もあげることの出来る資格である。話をしていると法話を聞いていく気になってくる。

世田谷にある三界寺(誠宗)で30年来の修業を積み、会社以外の時間はそれに費している。

不思議な事で、知人に釣りに誘われて行ったところ、連れて行ってくれた人の竿には面白い様に魚がかかるのに、岡本会長には一匹も釣れない。広島県の宮島の出身で、子供の頃から魚獲りにかけては人後に落ちない筈なのに。やはりこれは仏の修業をしているからと思

いあたり、殺生はよくないと更に自分を戒めるようになった。

また、発表はしていませんが、今年には息子に社長を譲ります。寺のことは、それでなくても頼りにされているので深入りしそです。円高の影響もあり、近年、単価・品質・納期と厳しさが増す状況に、下請けの工場もこれからは堅実に優秀な所だけが、選ばれて生き残る筈と、昔ながらの経営方法ではなく、コンピュータ化にも対応でき、得意先の要望にも敏感な対応ができる若い人に頑張ってもらおうと退退を決意した。

山中鉄工所は三代続いて鉄を扱っている。インタビュに際しては、山中章好取締役のお祖父さんは神田鍛冶町で鍛冶屋を営まれ、父君の代になり大森へ移り鉄工所を開始された。NC施盤な

# 経営のマンション工場立

(株)山中鉄工所  
取締役  
山中章好



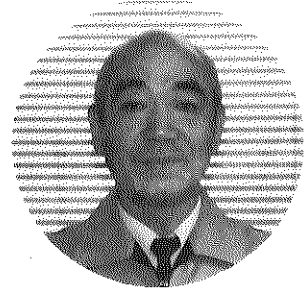
ともこのあたりでは早くに取り入れた機械好きであった。単品物をNCやマシニングセンターにのせる仕事が多であったが従業員若返りと共に、ロット物も手掛り始めている。

工場隣、資材置場にしていた170坪の土地に相続税対策を兼ねて2DK18世帯の賃貸マンションを建設中で3月1日に完成の予定である。このマンションが出来ると騒音対策も考えねばならず、元々現在の工場のある土地も住宅地であり、既存権利で操業してきたが、得意先も地方に多いため、移転も考慮しなければならぬ。

又、若い従業員の為に仕事の方向づけも確立する事とマンション経営を含め多忙の年である。

# 景気の動向をみすえて新事業

(有)入江精機製作所  
代表取締役  
渡来照男



初めて出会った印象が、話を聞く内にその人の趣味や特技と重なりあつて、なるほどと思ひ当る事がある。入江精機の渡来照男社長から受けた精悍な第一印象もそうであった。

ライフルとゴルフ  
ライフル射撃で培われた集中力の訓練のせいであろうか。東京都の選手権にも出場し、協会の役員に名を連ねているが、円高のありで中々行く機会が少ない。

今年の仕事が順調に動き、社長業がヒマになって欲しいね、ライフルにも行きたいが、通わせてくれればゴルフも100をきりたいし、素質はあると思うのだが？

昨年より押し進める計画である。昨年後半からの仕事の増加の流れに、円高対策が進んだのか、在庫の押えをはずしたのか原因がわからないし、一方では株の値下り、円高の進行と不透明な先行きに困惑中であるが、製造業は将来横這いの産業と捉え、今年には新事業を始める心づもりである。

# 仕事は好調。職場環境の整備を

(株)平川製作所  
代表取締役  
柳沢重次郎



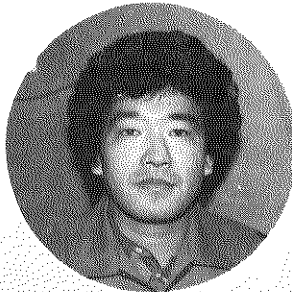
150軒からの多様な得意先を持つているので、不況業種があつても景気に左右されず、複雑な形態を加工する技術を持った競争相手も少なく、又機械を買って内省化するには採算がとれにくい等が利点である。

現場作業は社員の自主性に任せ、責任を持って働いて貰う方針です。今年にはさらに気持ちよく仕事のできる環境を整え、小さくとも若い人の育つ職場づくりが抱負です。

晴れた日曜には必ずクラブを握っているゴルフが趣味。帰り際に協会はコンペをやらなないのでかと質ねられた。

# 不況を逆手に 体質の改善

大志技研(株)  
代表取締役  
齊藤勝



技術的にやさしい仕事は、コストの低い地方に外注し、難しい仕事は自工場と振り分け、今年も川崎駅ビルの仕事を手始めに順調な滑り出しを予測させる。

家具の材料も、通常の建築材料の杉・ひのき等とは異なり、カタ材と呼ばれる内地産のものであり、この所目立つ、建築資材高騰の悪影響も受けていない。

初見重房社長も、くも膜下出血・脳血栓・心臓弁膜症と大病をくりぬけて来ているが、趣味は仕事です」と意気さかんである。最近開局した30チャンネルの東急ケーブルTVが忙中での息抜きである。

不足を訴える所が多い。工業からサービス業へと移る若者に、時代の流れと思つていても皆一様に危惧している。中小の事業主個々の対策には、やはり限度もあるであろうから、協会や工連、あるいは大田区等で総合的に取り上げる問題なのではないかと感じる。

大志技研でも同様に、若年労働者の確保に悩まされているが、それに伴う労働力との事から、アジア難民雇用についての資料を取り寄せ検討中である。

# 新春イニ 63年を希望

会員経営者のシャベリ初め

会員の皆様  
おめでと  
新春を迎え  
皆様に  
“シャベリ初め”  
本年もよろしく



入る大明工芸(株)は、昨年の一月に新工場を完成させた。工場等制限法の認可に一年も時間をとられてしまったが、制限法にのっとり新築はまだ少ない。

比較的、好・不況に影響されない業種ですが、競争は激しい業界です。幸いに新工場の完成した去年は売り上げが好調で18%の伸びを記録しました。従業員もこの業界平均では10才若い32才と元気が良いので、今年も10%の売り上げ増を目標にしています。

工場等制限法・地方移転・地上げ・住宅化...

# 大田区に工業の灯が消える

## これでいいのか手遅れ行政、環境悪化が追打ち!!

第3回・理事支部長研修会開催/12月2日 大森東急 イン

地上げ攻勢の嵐の中で

### 今こそ正念場 安易な妥協はしたくない



発表者 株旭製作所 社長 丸山 旭

私の会社は鍍金加工業。主にロツカー類を手掛ており、薄物なのでそれ程酷くはないのだが、振動等の公害には常に気を配っている。

#### 近隣の工場が次々に移転 不動産屋が交渉に

この春、左隣の会社が不動産業

住工共存というが、現実はどうだろうか？工場は広げたくても法規で押えられ、建売り住宅やマンションは所構わず立ち並ぶ。場句の果てには、公害の名の下に過去の実績などは全く無視され、工場は次々に追い出される。とに角住民パワーに押しまくられ、かつては京浜地帯の発展の原動力であった大田区の工業も日一日と影が薄くなってきている。この様な状態を時代の流れと諦めて、成るようにしか成らないと看過していいのだろうか？

当協会としては、一致結束してこの難局を打開するために会員各位の率直なご意見、ご要望を是非お寄せ頂き実効ある対応を図りたいと思っており、絶大なご協力を切にお願いする次第である。

者に売却して立ち退くと、続いて右隣が同様に移転することのこと。

向いは倒産会社とその儘で、今や三方から囲まれた形になった。どうしたものかと思っている。

間もなく不動産業者が来た。私の所も合わせてでないと商売にならないということ、纏めて買う条件で話を進めていたらしく、二度目には売って欲しいという。9月の初めの頃だった。

最初は、日照とか住宅環境の問題を色々並べていたが、最後には1坪当りの買い値を基礎に、経費や税金、手取り額から代替地の購入費を差引き、その残金に多少の借入れをして新工場を建てるという条件まで示して迫ってくる。

#### 買替えの特例に

#### 東京・川崎・横浜等は含まれていない

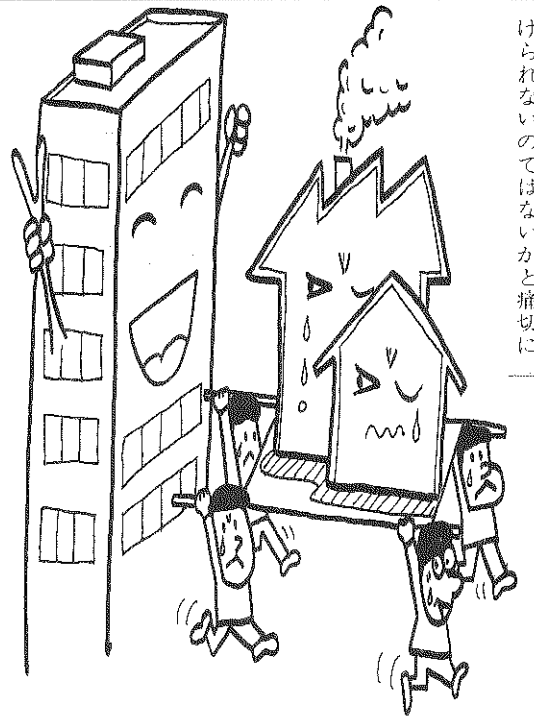
とに角細かい所までよく調べ上げてくるが、余りにも性急で、簡単に結論を出せる問題ではない。

それに、買替えの特例を利用するというのが、23区内、三多摩、川崎、横浜、川口、三鷹を除くとなると、それ以外で東京から離れた場所では、移転してもスムーズに稼働するのは難かしいと思う。ゼロから出直す形になるのだから、ウチが売らないということ、その不動産業者は白紙に戻したのだが、その後11月中旬に別の業者が右隣を買った。マンションを建てる計画だと聞いている。

私としては、仕事は続けたいが、周囲の工場が無くなるこの現実を身近に見るにつけても、現在の場

所での操業は、今後そう長くは続けれられないのではないかと痛切に

感じている。(終)



会 司 株車田製作所 社長 車田昌一

丸山さんとは同じ町会で色々な情報を耳にするが、実は裏側にある会社も「今のうちに売った方がトクだ」などとオドシみたいな形で誘いを受けて、悩んでいるそう

#### 新工場では無人化を推進

### 活路を求めて 新天地を開拓

発表者 幸栄精機株 社長 吉田 彰

ウチの場合もプレス加工が主体で、いわば公害の親玉みたいな仕事。5年程前から都の指導でかなり改善はしてきたのだが……

#### 千葉から茨城に 候補地を変更、熱心な誘致で、那珂湊へ

2年前千葉に移転を計画し、土地は入手したが、正式許可に手間取るうちに予定地周辺に住宅や店が出来る様になると考えた結果、茨

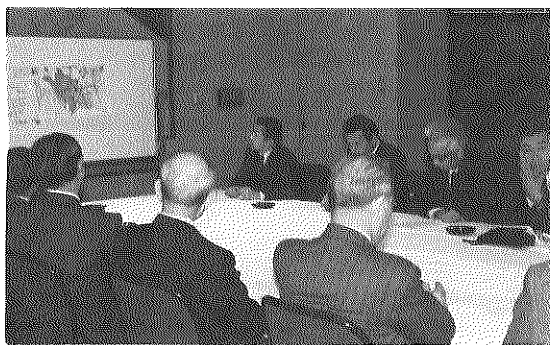
城県の那珂湊市に変更した。ここは県第一の漁港だが、20哩問題で漁業では成り立たぬとのことで、市の政策として工場誘致に力を入れており、偶々私の所が誘致契約第1号ということで、市当局も色々便宜を図ってくれた。近い将来には工場から300mの至近距離に那珂湊インターが出来るとで、いざれ片道2時間半位で往来出来る様になる見込で、それ程遠くはない。実際には工場専用地域としての受入れ態勢は未だ整ってはいないが、周囲からの制約を受けない環境が何よりも必要だったし、一番好い場所を選ばせて貰って、大変

恵まれたと思っっている。市としては土地の人の雇用を見込んで誘致に努めている様だが、私は機械は入れてもなるべく人は使わないで済む様なロボットライン、自動化により、小人数で大きな生産を目標に取り組んでいく。

#### 現地募集に応募多数 大森との二頭立て

ただし新工場の従業員は現地採用が前提だったので、募集の結果経験者を含め3名を希望通り採用することが出来た。現在5人で工場を動かしており、募集広告を出せば何人でも人は集められる様だ。

話が前後するが、プレスの仕事は都内ではもう無理。残業は出来ないし、拡張は勿論大きな機械も入れられないとすれば、顧客のニーズに答えられないし、生産量の頭打ちから売上げ減少へと繋がる。当然の成り行きとして区外移転を考えざるを得なかったわけで、親



会 長 トキワ精機株 木村吉男

区には機会ある毎に工業用地の確保、効率的な土地利用等について申し入れをしているが、行政部

しい友人からは自爆行為だとの声もあつたが、発展を期する気持と共に、大学進学にあたって工業経営料を選んだ息子に後継ぎの意思を感じ取れたことも力強い支えになったし、家内の協力もあって踏み切った。



今日までは順調に進んできたがこれからが大変で、工場の分散と連絡に予想以上に経費がかかる。この辺を何とかしなければと思う。いざ大森工場は型部門だけにするつもりだが、たとえ本社は移しても、拠点として営業所を大森に置きたいと思っっている。(終)

任せだけでは解決しない。自分達がここで頑張っていくにはどうしたら良いかを皆で考えよう。

東京との関連を保ちながらの地方への転出も一つの手だとは思いますが、何としても大田区で工場が成り立っていきようにしたい。

この儘では、いつかはこの地区から工場が無くなってしまふ。区へでもどこにでも出向いて行くから、遠慮なく積極的に意見や注文を聴かせて欲しい。

(司会) 出来る限り大田区から離れて欲しくないが、地方に出る場合でもつながらは保って貰いたいものだ。移転には徹底的な事前調査が何より大切だと思う。